

・ ・ ・ ・ ・
早めの行動があなたの
大切な農機を守ります！



- 近年、豪雨による内水氾濫が多くなり、たくさんの農業用機械が被災しています。
- 事前に逃がすことで農家の大切な農機を守り、経営のリスクを減らすことができます。

内水氾濫の恐れがある時には
前もって農機を避難させましょう

避難の
ポイント

✓人命優先

✓計画行動

✓自衛行動

命を守る行動を最優先とする
予め決めておいた避難計画（タイムライン）に基づいた行動をする
自分の財産を守るために必要な行動をする（風雨除け、盗難対策）

■警戒レベルと避難対象

レベル1
早期
注意情報

レベル2
大雨・洪水・
高潮情報

レベル3
高齢者等
避難

レベル4
避難指示

レベル5
緊急安全
確保

【農業用機械】の避難

【人】の避難

『タイムライン』の勧め

タイムラインとは、「いつ・どこへ・どう」行動するのかを予め決めておく避難計画です。

【いつ】＝迷いなく速やかに、

【どこへ・どう】＝より安全な場所に、効率よく
タイムラインにより、避難の手順や地域の協力関係が確認できますので、事前に作成しておきましょう。

作成のポイント

✓0 情報の把握

- ・日頃から市町のうごきを把握できるようにしておきます。
- ・避難判断の対象とする周辺の雨量・水位観測所や潮位を含む河川情報を決めておきます。

✓1 「いつ」の検討

- ・気象、警戒レベル情報や経験に基づく内水害のおそれの高い雨量や潮位など、自ら避難行動を起こすスイッチを決めておきます。

※避難の目安は、一律で設定可能なものではありません。

✓2 「どこへ」の検討

- ・機動力の劣る農業用機械が自走できる範囲で、内水害から避けられる高台など避難先を決めておきます。

✓3 「どう」の検討

- ・避難ルートや避難場所の利用ルールなどを確認しておきます。
- ・排水機場の操作等を担われている場合もあるため、地域の協力関係など、役割分担を確認しておきましょう。

**高台に避難
してください**

